

学習プログラムを開発しよう

グループ 西部E メンバー

1 学習目的

青少年が地域住民とともに活動することで、地域の特色を学び、異なる年齢の子どもや大人との交流を通じて、地域に愛着が持てる。

2 学習目標

青少年が郷土料理の学習を通じて、地域の特色を知ることが出来る。
地域住民との交流を通じて、お互いに関心を持ち、プログラムを終えても日常生活において、参加者同志が気軽にあいさつをかわすといったお互いのことを自然と気にかける間柄を目指す。

3 プログラム名

あつまれ!! はれっとう食堂

4 対象・定員

小学5・6年生 20名

5 参加費（受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお、算出の根拠も明確にする。）

各回500円（4回目のみ無料）

6 事前に必要な知識や準備物

レク準備、救急セット、クイズ作成、料理に必要な調理器具、レシビ
郷土料理マスター認定証
エプロン、三角巾、手ぶき

7 留意点

・アレルギーの有無の確認
・初日の実食は1/2ずつ

西部E

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
第1回 7/29 (月) 10:00 ? 12:00	まずは 食べてみよう	◎レクリエーションで参加者同士の 交流を図る。 郷土料理を通じて、地域に 興味関心をもちきっかけを作る。 ①オリエンテーション・レクで 交流を図る (50分) ②郷土料理を夕食。 何が使われていたか、グループ ごとに考えて、次のクイズにつな げる。 (50分)	(センター職員) 地域の料理 グループ	はぐらと 生涯学習セン ター ホール (実習室)	学習活動の観察
第2回 7/30 (火) 10:00 ? 12:00	クイズを 解いてみよう	◎特産物・郷土料理を通じて 地域について知る ①前日の料理に使われていた 材料をクイズ形式で出題。 (30分) ②特産物 (使われていた) を食べてみる (20分) (30分) ③食材や料理について知る (20分) ④歴史の料理が生まれた背景 や歴史について詳しく学ぶ (20分)	(センター職員) 郷土史研究会 グループ	はぐらと 生涯学習セン ター 研究個室	アンケート - 満足度 - 内容理解度 (食材、歴史) - 自由記述 クイズ
第3回 8/3 (土) 10:00 ? 14:30	ズルじゃ 作ってみよう	◎実際に料理を作って特産物 を肌身に感じてもらう。 地産物産品の交流を図る。 ①実際に作る ②実習・片付け ③振り返り ※保護者も参加可能	地域の料理 グループ 郷土史研究会 グループ	はぐらと 生涯学習セン ター 実習室	アンケート - 満足度 - 料理の感想 - 片付けできたか 料理
第4回 8/9 10:00 ? 12:00	さいごは まとめよう	◎前日作った料理のレシピ表 作りを行うことで、今後も興味 を持ち続けられる。また、 地域にも還元し、活動の 発表をある場を提供する。 ①レシピ表作成 (自分たちで作るほうに注釈) ②郷土料理マスタールを発行	(センター職員) 地域の料理 グループ	はぐらと 生涯学習セン ター 研究個室	アンケート - 満足度 - 郷土料理への理解 - 今後の活動 レシピ表
<p><今後の展開について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは「お店を出す」 (郷土料理マスタール) ・次回(次年度)の講座で先生役として参加可能。 ・レシピ表の配布、センターへ置いておく(ご自由に取っ払っていい) 					